

 **北ひびき** [地域コミュニティ誌]

ひびきあいの広場



組合員・地域住民皆様の日頃のご愛顧に感謝を込めて発刊いたしております。

Contents

- 知ってみよう! JA、農業協同組合ってどんなところ?
- JA北ひびきのお知らせ
- クイズに答えてJA北ひびきのオリジナル商品をゲット!
- 編集後記



QUIZ

クイズに答えて
JA北ひびきの
オリジナル商品を
ゲット!!
どしどし応募してね!



問題

自立した個人が連携し、助け合うことを『○○○
○』といいます。協同組合はこの考えを基本に
運営しています。

〇〇〇〇に入る言葉を記入して応募すると、正解者の中から抽選で**10名の方に下記の商品**が当たります。



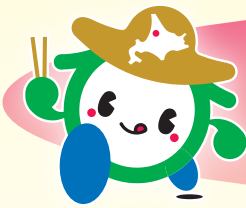
オリジナルスープ 各2食
ほっこり大豆 2食
やみつき大豆 2食

応募方法

- ① 答え ② 郵便番号・住所 ③ 氏名
④ 年齢 ⑤ 電話番号
⑥ JAひびきに対するご質問や
ご意見・地域コミュニティ誌に関する
感想をお書きの上はがきにて投函、
または、下記のQRコードよりご応募
をお願い致します。
- 締 切 日/5月27日(金)消印まで有効
当選発表/当選の結果はJAひびきHPにて
掲載し、郵送にてご連絡致します。

先募応

〒095-0021
士別市西1条8丁目701番地1
JA北ひびき「プレゼントクイズ」係りまで
 ※ご応募に際し、お客様の情報はJA北ひびき内で、
 抽選・当選者へのプレゼント発送及びお客様個人を
 特定しない範囲でのアンケート分析のため利用さ
 せていただきます。



Information

JA北ひびきのお知らせ

農産物直売所
ファーマーズマーケットひびきあい

5/20

午前10時

OPEN

野菜苗・花苗の販売

- **野菜苗** (キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、他多数)
- **花苗** (ペチュニア、トルコキキョウ、マリーゴールド、他多数)

開店当初は苗ものを中心に販売を行います。
徐々に店内の商品ラインナップが充実していきます！
苗ものをお買い求めの際は、空き箱をご用意の上ご来店下さい。



※新型コロナウイルスの影響を考慮し、今年の無料配布イベントおよび5月末予定のひびきあい青空市は中止と致します。

●お客様へのお願い

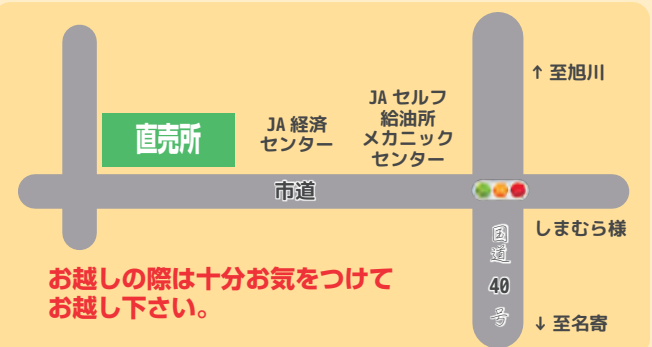
感染予防のため、マスクの着用と出入口での消毒にご協力をお願い致します。
また、お待ちいただく際には他のお客様との間隔をあけていただくなどのご協力をお願い致します。

今シーズンも
ご愛顧のほど、よろしくお願いします。



ファーマーズマーケット
ひびきあい

住所 士別市大通東 20 丁目 472 番地
電話 29-6622



編集後記

JA北ひびき地域コミュニティ誌『ひびきあいの広場』をご覧いただき、誠にありがとうございます。

本誌では『知ってみよう！ J・A、農業協同組合ってどんなところ？』と題して、J・Aや農業協同組合、そしてJ・A北びびきがどのようなことに取り組んでいるのかをご紹介します。

テレビを眺めていると『J Aバンク』『J A共済』などのコマーシャルはよく見かけますよね。しかし、実際のところJ Aがどんな組織なのか、何をしているのかというのははっきりわからないのが正直なところかと思えます。限られたページですのでJ Aのすべてを一举にご紹介するのは難しいのですが、ごく一部でも皆様にご知ってもらえ、身近に感じていただければと思います。

[illegible]

知ってみよう！JA、農業協同組合ってどんなところ？

「JAって名前をよく耳にするけど何をしているところなんだろう？」「JAと農協って何か違うの？」そう思う人は多いのではないのでしょうか？今回はそんな「JA」について少しでも知っていただければと思います。また、JA北ひびきで行っている事業の一部もご紹介します！



JA（農業協同組合）ってどんなところ？



組合員が助け合う組織

生産者は農畜産物を育て、販売することで収入を得ています。ですが、個人が農畜産物を販売する場合、販売先の確保や、その営業に時間を取られてしまうと、肝心の生産活動に専念できなくなってしまう。さらに、個人での価格交渉では安く買いたたかれてしまう恐れもあります。そこで、JAが生産者の生産物をまとめ、交渉することで、市場でも高い値段で販売しています。

また、JAは生産者を中心とした組合員が出資し運営しています。農業を営む（営農）には、肥料や農薬、ビニールハウス、施設などが必要で、生活するには万が一の場合に備えるための保障も必要です。必要なものをそろえるため、時にはお金を借りることもあります。JAの出資金はこれらの事業の他、生産者が農機やトラクターなどの高価なものを購入する際に、融資用の資金としても使われます。

このように、組合員は日々、色々な活動を行っています。一人ひとりでは経済的な力が弱い、組合員同士で助け合い、JAとしてまとまることで大きな力に変えています。



JAの組合員には『正組合員』と『准組合員』の2種類があります。

内容に従って共済金を支払います。1948年から、北海道を皮切りに各県で開始されました。現在、国内の協同組合では、JAだけではなく、生協、労働組合や漁協なども共済事業を行っています。

一定の掛金を集めて、不測の事態に保障を提供するという、仕組み手法は『共済』も『保険』も似ています。大きく違うのは『保険』は個人（家族）がリスクへの備えとして保険会社と契約するのに対し、『共済』は利用者である組合員みなでお金を出し合い、自ら運営する組織を通じて仲間同士で支えあう制度にあるという点です。



ライフプランや農業者を対象とした保障を提供

JA北ひびきは、組合員利用者の目的やライフプランに応じ「ひと、いえ、くるま」の総合保障を通じて、毎日の暮らしをサポートしています。『ひと』の保障では、万に備える『終身共済』、病気やケガに備える『医療共済メディフル』や『がん共済』、働けなくなるリスクに備える『生活障害共済働くわらしのささエール』な



みなさまのお出かけに「安心」を提供

自動車



生活の足となる自動車の販売や車検整備、修理など、自動車を使用する際には欠かせない作業を行っています。JA北ひびきでは、メカニックスセンター（士別市）にてみなさまの大事な自動車を責任もって取り扱わせていただきます。



正組合員は農業を仕事にしている人や団体、准組合員は地域に住み農業以外の仕事をしている人がJAに出資金を払い込み、その他の手続きをすることで加入できます。准組合員は、正組合員と違い、総会での議決権や役員選挙権などJAの運営に参与することができませんが、地域を支える協同組合の仲間たちです。

平成4年～

JA（ジェイエー）という名前は、「農業協同組合」の英語表記の頭文字をとってつけられたニックネームです。シンボルマークは緑のアルファベットのJとAを組み合わせたデザインで、どっしりとした大地と人と人のきずなのイメージを表したものです。それまでの農業協同組合のマークは稲穂のデザインでしたが、農家だけではなく、みなさんといっしょに地域のくらしづくりをしていこうと、親しみやすい呼び名とマークを使うことになりました。



そもそも協同組合って何だろう？



同じ目的を持った人たちが集まり、助け合う組織

そもそも、農業協同組合の「協同組合」とは何でしょうか？答えは、一人ひとりでは弱い立場にある個人の農業者や漁業者、消費者、中小規模の事業者などが集まって助け合う組織です。自立した個人が連携し、助け合うことを「相互扶助」といいますが、協同組合はこの考えを基



地域を支える生活資材

燃料



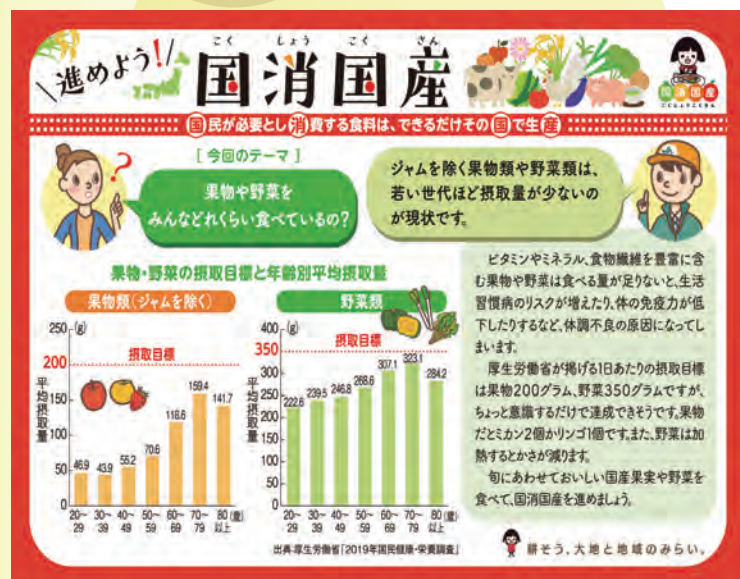
乗用車をはじめ、農業機械、ビニールハウスの暖房などの燃料として、石油製品は生活営農に欠かせません。石油製品の主な供給拠点であるガソリンスタンドは、地域に欠かせないライフラインの一つとなっています。JAでは、燃料製品の安価で安定的な供給体制の構築に向けて取り組んでいます。JA北ひびき管内では、士別市、上士別町、温根別町、多寄町、朝日町、和寒町、剣淵町にて営業しています。士別市のガソリンスタンドには自動洗車機を完備しています。



有利販売で農家の所得増大に貢献

販売

生産者（組合員）が育てた農畜産物を販売し、消費者に届ける販売事業は、生産者の所得向上に直結する重要な事業です。販売事業の中核は「共同販売」です。個々の生産者が生産した農畜産物をJAが集荷して、サイズ品質規格を選別して安定的に出荷することで有利販売に結び付けています。このように、生産者個人では難しい、スケールメリットを発揮できることがJAの大きな強みとなっています。



産者の所得向上と満足度向上に努めています。



JA北ひびきの金融商品のご案内

総口座

『貯める受取る支払う借りる』などくらしの役に立つサービスがたくさん。あなたの毎日をサポートする総合口座をご利用ください。

各種貯金

賢く選べる4種類のJA貯金。あなたのお金の使い道や、目標額に合わせて賢く使い分けましょう。

自動支払サービス

簡単なお手続きで、公共料金をはじめ、いろいろなお支払が自動的にできて便利です。

JAネットバンク

お手持ちのパソコンや携帯電話からアクセスするだけ。平日休日を問わず、残高照会や振込振替などの各種サービスがお気軽にご利用できます。

その他の各種ローンやお知らせについてはQRコードからご確認ください。



農村部の生活を守るため、相互扶助の精神から生まれた「JA共済」

共済

組合員が一定の資金（掛金）を出し合い、お互いを助け合う共済事業を運営しています。病気やケガ、火災や自然災害による建物の損害、自動車事故などの不慮の事故にあった際に、契約

『選ばれる産地づくり』への取り組み

もちろん、販売を行うだけではなく、安全安心な農畜産物の生産を基本に「選ばれる産地づくり」に向け、生産者と連携し販売強化も図っています。その一つとして、青果物においては、GLOBAL GAPへの取り組みを行っています。GLOBAL GAPとは、国際的な農産物認証の自主基準を定めており「食品安全」「労働者の福祉」「環境保護」「トレーサビリティ」の実践を通して「持続可能な農業の確立」を目指し、消費者に安心をもたらすことを目的として作られた基準です。認証審査は第三者機関によって厳格に行われます。

JA北ひびきにおいては、平成19年より各販売先プライベートブランドのGAPに取り組みんでいましたが、平成22年にGLOBAL GAPへの取り組みに移行しました。さらには、同年に団体認証を取得、翌23年にはJAの野菜集出荷施設を含めた認証も取得し、現在JA北ひびき管内の認証者は10名で、対象品目は南瓜、馬鈴薯、玉ねぎ、アスパラガス、ブロッコリー、とまと（ミニトマト）、ズッキーニの7品目となっています。